

第3回 和気町バリアフリー推進協議会 議事要旨

1. 日時

令和6年2月8日（木）15:00～16:00

2. 場所

和気町役場 2階 大会議室

3. 委員

下表のとおり

No.	所属	肩書
1	和気町	町長
2	和気商工会	会長
3	I P U環太平洋大学	次世代教育学部 教育経営学科 教授
4	和気町老人クラブ連合会	会長
5	和気町身体障害者福祉協会	会長
6	もみじの会 和気町精神障がい者家族会	
7	公益社団法人 岡山県聴覚障害者福祉協会	事務局長
8	和気町手をつなぐ親の会	会長
9	和気郡PTA連合会	会長
10	西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社 地域交通課	課長
11	一般社団法人岡山県タクシー協会	専務理事
12	岡山県備前警察署 交通課	交通課長
13	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局	首席運輸企画専門官
14	岡山県 備前県民局 東備地域事務所	地域建設部長
15	和気町 教育委員会	教育長
16	和気町 危機管理室	室長
17	和気町 健康福祉課	課長
18	和気町 都市建設課	課長

4. 事務局

和気町 都市建設課：課長補佐、主事、係長

5. 委託事業者

八千代エンジニアリング株式会社

6. 委員会資料

委員名簿

資料1：パブリックコメント実施結果

資料2：和気町バリアフリー基本構想（案）

資料3：今後の進め方とスケジュール

別紙：和気町バリアフリー基本構想（案）に関する主な修正内容

7. 議事の概要

1 開会

委員長より開会の挨拶を行った。

続いて、和気町都市建設課課長補佐より次第の説明及び資料確認を行った。

また、第2回和気町バリアフリー推進協議会において委員から質問があった、公共施設や店舗における盲導犬や補助犬への対応状況について、和気町健康福祉課課長より説明を行った。

2 議事

（1）パブリックコメントの結果報告

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

- ・ 資料1 パブリックコメント実施結果

（2）和気町バリアフリー基本構想（案）の承認

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

- ・ 資料2 和気町バリアフリー基本構想（案）
- ・ 別紙 和気町バリアフリー基本構想（案）に関する主な修正内容

委員： JR 和気駅のホームに電光掲示板は設置されているか。

事務局： 電車が到着することを伝える電光掲示板は設置されている。

委員： 電車の遅延等の情報を発信するような設備があると分かりやすいと考える。

事務局： 基本構想（案）P.40において、公共交通特定事業として JR 和気駅の特定事業を設定している。いただいたご意見については、「駅舎のバリアフリー化」事業の中で検討したい。

委員： JR 和気駅では、改札付近にモニターが設置されており、電車の遅延状況等の情報を発信している。

- 委 員： 基本構想（案）P.5 に示されている「和気町地域公共交通網形成計画」について、現在、「和気町地域公共交通計画」として改訂版計画の策定等を進めている。基本構想を最終化する段階で、名称等の整合を図る必要があると考える。
- 事 務 局： 基本構想を公表する段階では整合を図る予定である。
- 委 員： 実施時期を「検討中」としている特定事業について、具体的な着手時期が確定した場合、どの時点で基本構想に反映する予定か。
- 事 務 局： 来年度から施設設置管理者において、各施設の特定事業計画の作成を進めていく予定である。具体的な着手時期については、特定事業計画の中で明確になるものもあると考えている。基本構想への反映については、PDCA サイクルに基づく進行管理の中で、随時、反映していく予定である。
- 委 員： 令和 6 年 3 月の公表時期までにすべての特定事業の内容や着手時期を明確にすることは難しいと考えられるが、来年度以降も施設設置管理者と調整の上、具体化できるものは具体化していただきたい。また、基本構想の内容に変更等がある場合は、随時、協議会委員にも共有した上で検討を進めていただきたい。

（３） 今後の進め方とスケジュール

事務局より、以下の資料を用いて説明を行った。

・ 資料 3 今後の進め方とスケジュール

- 委 員： 事務局からイオンタウン和気に関する特定事業を削除したとの説明があった。イオンタウン和気は地域の中心的な商業施設であり、町民の利用も多い。今回、施設設置管理者であるイオンタウン株式会社と協議・調整の上、削除に至ったとのことだが、民間商業施設との連携・調整について、他都市ではどのように進められているのか。
- 事 務 局： 民間商業施設との連携については、施設設置管理者の意向等も影響するため、自治体によって様々である。イオンタウン株式会社とは、今回の協議で一定の連携体制が構築できたと考えられるため、今後、特定事業に関する調整等が進んだ段階で基本構想に反映することも考えられる。
- 事 務 局： 今回の協議により、イオンタウン和気においてバリアフリー化の取組み等を行った際は、本町に情報提供いただけることになった。今後、施設設置管理者から情報提供があれば、適宜、発信していきたい。
- 委 員： 和気町立図書館と和気町中央公民館は老朽化が進行しており、今後、建替えの予定があるとの話も聞いている。基本構想で位置付けている特定事業は、現在の建物における対策との理解で良いか。対策を行う前に建替えした方が、効率が良い場合もあると考えられるため、十分に検討した上で進めていただきたい。
- 事 務 局： 建替えの必要性も含め、十分に検討・協議を行った上で進めていきたい。
- 委 員： 和気駅南北地下通路の北側スロープについて、特定事業の実施時期が検討中となっているが、将来的には車いすでも通行できるようにしたいと考えているか。

- 事務局： 和気駅南北地下通路は、南側スロープについては車いすでも通行可能だが、北側スロープは勾配がきついため、車いすでは通行できない状況となっている。北側スロープについて、現段階では構造や位置的な要因等により、緩勾配化が難しい状況であるが、長期的な展望に立ち、駅舎の大幅な改修など改善できる機会を見越して検討中としている。
- 委員： パブリックコメントでの町民意見が0件だったことについて、事務局としては何が要因であると考えているか。
- 事務局： 今回はスケジュールの都合上、広報誌等への掲載ができなかったことが要因の一つであると考えている。基本構想の見直しを行う際は、町民への周知を含め、有効な方法を検討したい。
- 委員： まずは町民にバリアフリーに対して興味を持っていただく必要があるため、教育啓発活動に力を入れていくことが重要であるとする。
- 委員： 先日、町内の小学校から教育啓発活動に関する連携の打診があり、ようやくスタートラインに立ったと実感している。今後も、教育啓発に関する活動や情報発信を推進していただきたい。
- 事務局： 公共施設・旅客施設等へのバリアフリー啓発ポスターの掲示等、情報発信に関する取組みを広げていきたい。
- 委員： 事務局より、令和6年3月頃の公表に向けて、基本構想を最終化していく旨の説明があったが、今後の調整等については、事務局に一任することで良いか。
- 一同： 異議なし。

3 閉会

委員長より閉会の挨拶を行った。